

Citation: Pittler MH, Thompson Coon J, Ernst E. Artichoke leaf extract for treating hypercholesterolaemia. Cochrane Database of Systematic Reviews 2002, Issue 3. Art. No.: CD003335. DOI: 10.1002/14651858.CD003335.
CRG名: Heart

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 8 April 2002
Clib issue No.; N/U: 2007 issue 4; -

背景: 高コレステロール血症は、冠動脈性心疾患、その他の粥状硬化症の続発症に対するリスク上昇と直接的な関連がある。アーティチョーク葉エキス(ALE)は大衆薬として入手可能であり、コレステロール値の低下に關与しているといわれている。しかし、ALEが本当にこの適応症に有効であるか否かについては、未だに議論的である。

目的: 平均総コレステロール値が5.17mmol/L(200mg/dL)以上と定義された高コレステロール血症の治療のためにALEをプラセボまたは関連作用薬と比較したエビデンスを評価する。

検索戦略: MEDLINE、Embase、Amed、Cinahl、CISCOMおよびCochrane Controlled Trial Registerを検索した。これらのデータベースの開始から2001年6月までを検索した。関連資料について論文の文献リストも検索した。アーティチョーク・エキスを含有する製剤の製造業者およびこの主題の専門家にも問い合わせ、発表済みおよび未発表の資料の提供を依頼した。

選択基準: 高コレステロール血症患者に対してALE単剤製剤とプラセボまたは関連作用薬を比較しているランダム化比較試験を含めた。ALEを配合剤に含まれるいくつかの活性成分のひとつとして、または併用療法の一部として評価している試験は除外した。

データ収集と分析: データをシステマティックに抽出し、標準採点システムを用いて方法論の質を評価した。2名のレビューアが独自に研究をスクリーニングし、選択し、データを抽出し、方法論の質を評価した。個別の試験評価の相違は議論を通じて解決した。

主な結果: 参加者167例を対象とした2件のランダム化試験がすべての選択基準に適合した。1件の試験では、ALEにより投与開始から42±3日後に総コレステロール値が7.74mmol/Lから6.31mmol/Lに低下したのに対し、プラセボではコレステロールは7.69mmol/Lから7.03mmol/Lに低下した(p=0.00001)。別の試験では、ベースラインの総コレステロール値が230mg/dLを超えるサブグループ患者において、プラセボと比較してALEによって血中コレステロールが有意に減少した(p<0.05)ことを明らかにした。試験報告および市販後調査研究から、軽度で一過性の稀な有害事象が示されている。

レビューアの結論: 高コレステロール血症の治療についてALEを評価した厳格な臨床試験からのデータはほとんどない。有益な効果が報告されているが、エビデンスには説得力がない。安全性に関する限定的なデータから、ALEの短期使用により軽度で一過性の稀な有害事象のみが示唆されている。ALEが高コレステロール血症の患者に対して有効で安全な治療選択肢であるか否かを明らかにするために、介入期間の長い大きいサンプル・サイズの患者を評価する厳格な臨床試験がさらに必要である。

(監訳 相原守夫)
翻訳公開日: 08年3月19日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点があれば、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版

